

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満男性)あり、症状は痙攣、意識障害、髄膜炎、菌血症です。本年の累積報告数は46例となっています。京都市では、小児用肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLをご参照ください。
○京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は梅毒性バラ疹、扁平コンジローマです。推定感染経路は性的接触(同性間)です。本年の累積報告数は10例となっています。
- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は0.67(28例)で、前週に続いて京都市の過去5年平均値を上回っています。

◆ 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

- ・ 本市の流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点あたり報告数は0.83(35例)で、4週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 1例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 144例(肺結核 82例, その他結核 27例, 潜在性結核感染者 35例)うち喀痰塗抹陽性40例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症梅毒) 1例【1月以降の累積報告数 10例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 46例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.09	6
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.33	308
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	56
	③ 流行性耳下腺炎	0.83	35
	④ ヘルパンギーナ	0.67	28
	⑤ 手足口病	0.45	19
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

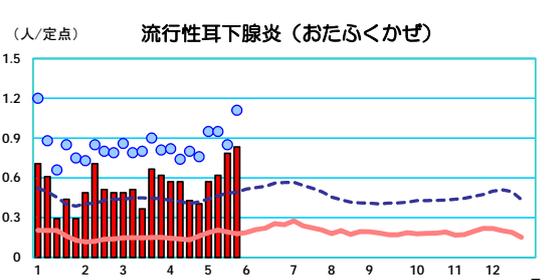
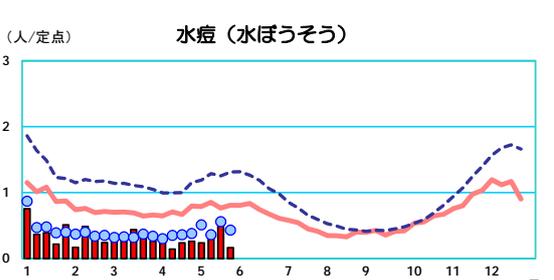
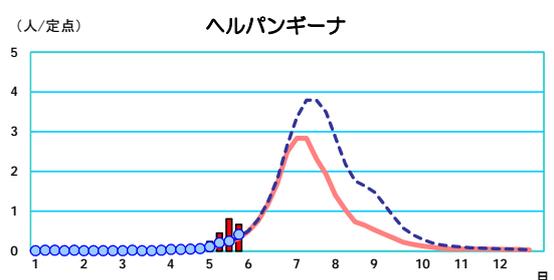
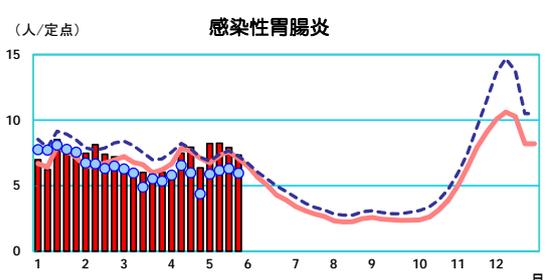
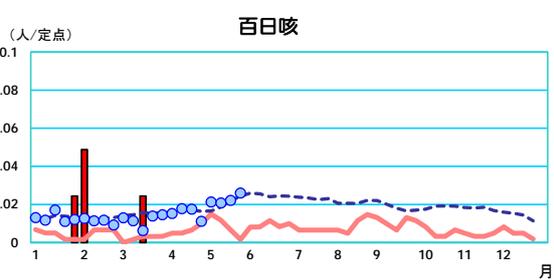
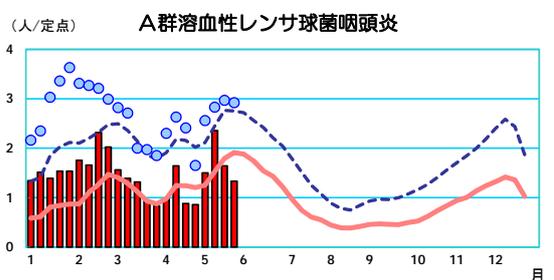
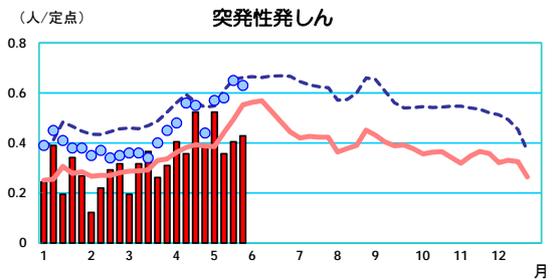
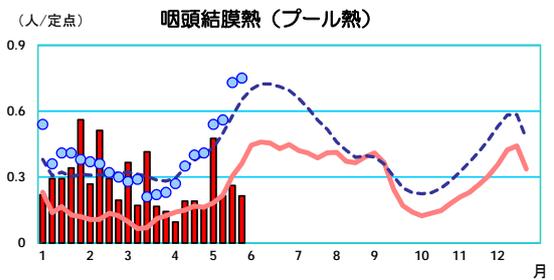
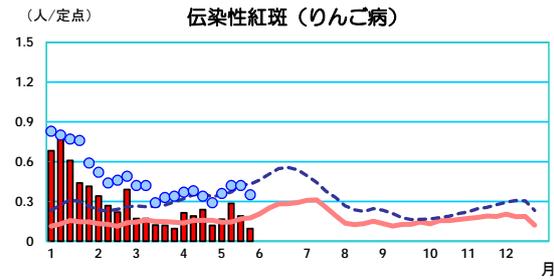
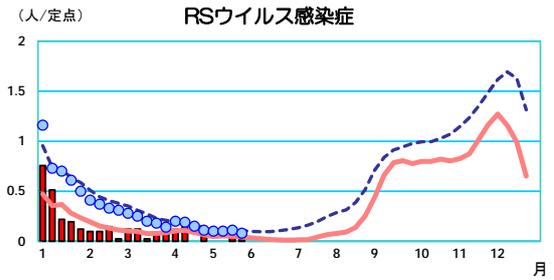
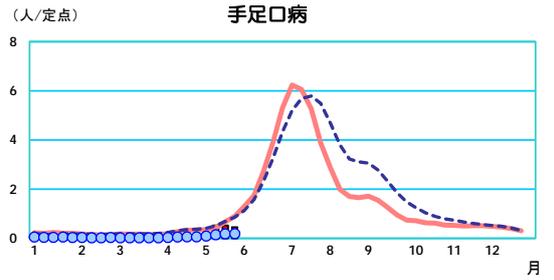
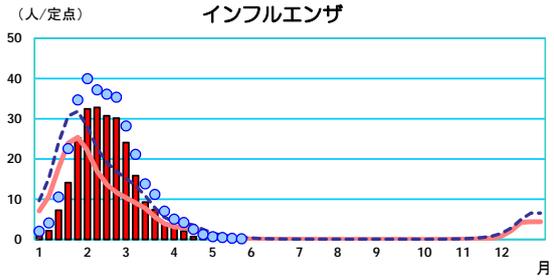
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年6月8日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第22週(5月30日～6月5日)トピックス: <流行性耳下腺炎>

京都市及び全国の発生動向

本市の流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点あたり報告数は0.83(35例)で、4週連続で増加しています(図1)。本年は年初から京都市及び全国の過去5年平均値を上回る状況が続いています。都道府県別でみると、39都道府県で前週から増加し、多い順に宮崎県、山形県、佐賀県となっています(図2)。特に宮崎県の定点あたり報告数は注意報レベル「3.0」を超えています。京都市の年齢階級別割合では、小学校就学前の乳幼児が約半数以上を占めており(図3)、保育施設等、小児の集団生活施設での集団発生に十分注意してください。

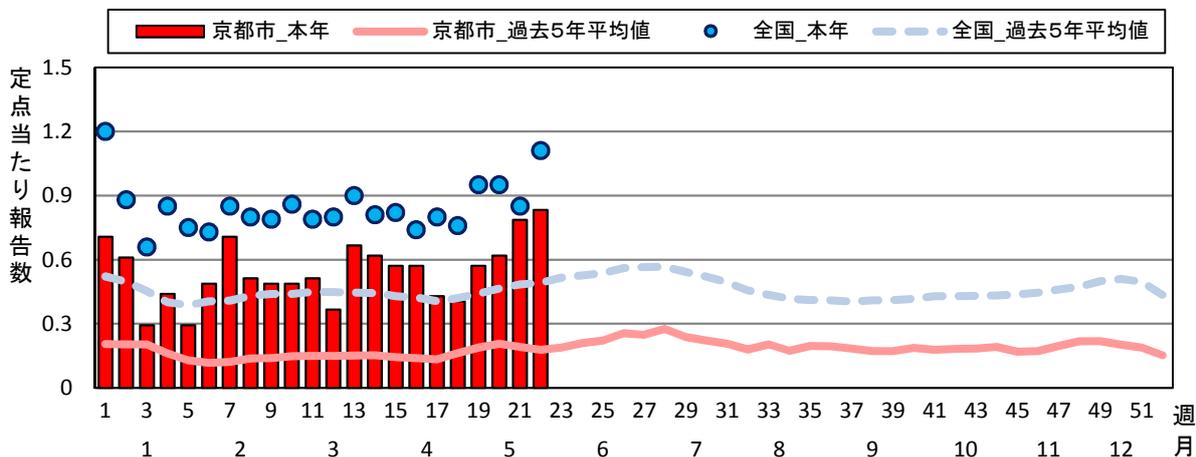
症状

本疾患は、ムンプスウイルスを原因とする感染症で、感染後2～3週間の潜伏期を経て発症します。主症状は、耳下腺の腫脹・疼痛及び発熱で、基本的には軽症です。予後は一般的に良好ですが、無菌性髄膜炎、難聴(ムンプス難聴)、睾丸炎、卵巣炎などの合併症を引き起こすことがあります。特に難聴は頻度は少ないものの、永続的な障害となるため重大な合併症の1つとなっています。

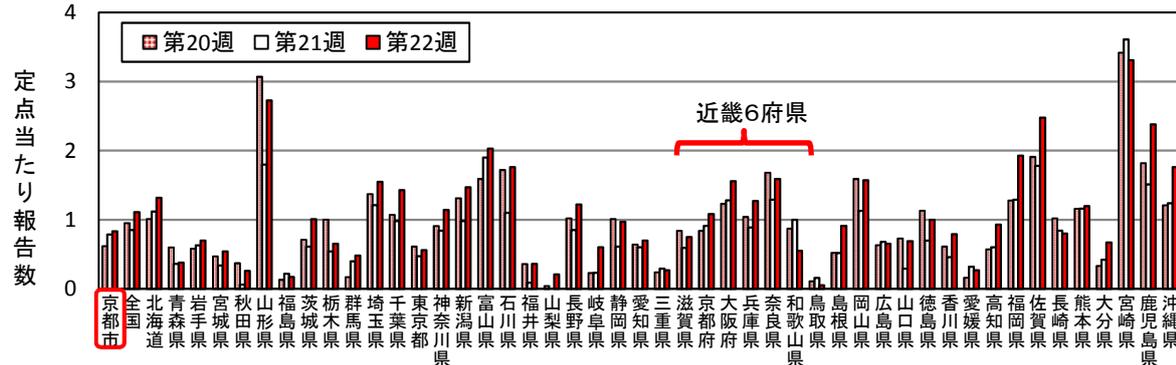
感染経路と予防方法

主な感染経路は咳、くしゃみ等による飛沫感染と手指を介した接触感染です。ムンプスウイルスの感染力はかなり強く、予防にはワクチン接種が効果的ですが、任意接種であるため自己負担となります。接種を希望される場合は、かかりつけの医療機関に相談しましょう。

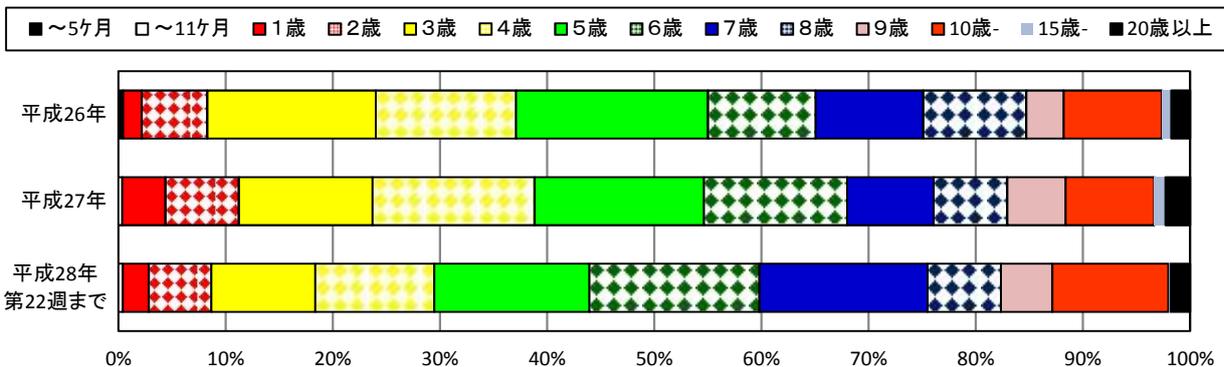
(図1)京都市及び全国の定点あたり報告数の推移



(図2)都道府県別定点あたり報告数の推移



(図3)京都市の過去3年間の年齢階級別割合(平成28年22週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第22週

疾病,行政区別報告数

平成28年5月30日～平成28年6月5日

データ入手日:平成28年6月8日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	1	1	-	-						
上京	-	-	-	4	7	-	-	-	2	-	-	-	-	-						
左京	-	-	1	13	64	-	-	1	1	-	-	-	-	-						
中京	1	1	-	1	13	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	6	6	1	-	-	4	-	3	2	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	5	-	1	2	28	1	5	1	1	-	14	3	-	-						
右京	-	-	-	12	67	2	7	-	1	-	1	12	-	4						
伏見	-	-	4	6	64	1	4	1	5	-	6	9	-	-						
西京	-	-	3	9	38	-	2	1	3	-	3	8	-	-						
京都市計	6	1	9	56	308	7	19	4	18	-	28	35	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	-	0.25	2.25	-	-	-	-	-	0.25	0.25	-	-						
上京	-	-	-	1.33	2.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-						
左京	-	-	0.25	3.25	16.00	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-						
中京	0.20	0.33	-	0.33	4.33	0.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	6.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	1.50	1.50	0.25	-	-	1.00	-	0.75	0.50	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1.00	-	0.33	0.67	9.33	0.33	1.67	0.33	0.33	-	4.67	1.00	-	-						
右京	-	-	-	2.40	13.40	0.40	1.40	-	0.20	-	0.20	2.40	-	4.00						
伏見	-	-	0.57	0.86	9.14	0.14	0.57	0.14	0.71	-	0.86	1.29	-	-						
西京	-	-	0.60	1.80	7.60	-	0.40	0.20	0.60	-	0.60	1.60	-	-						
京都市計	0.09	0.02	0.21	1.33	7.33	0.17	0.45	0.10	0.43	-	0.67	0.83	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第22週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年5月30日～平成28年6月5日

データ入手日:平成28年6月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	1	1
RSウイルス感染症		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		9	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		56	-	-	3	1	1	4	9	9	6	8	2	5	1	7	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		308	4	28	62	33	24	19	28	14	14	11	10	21	9	31	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	-	-	-	2	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	19	-	2	4	7	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		18	-	9	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		28	-	4	15	5	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		35	-	-	1	1	4	2	5	7	5	2	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01	0.01
RSウイルス感染症		0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.21	-	-	0.19	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.33	-	-	0.07	0.02	0.02	0.10	0.21	0.21	0.14	0.19	0.05	0.12	0.02	0.17	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.33	0.10	0.67	1.48	0.79	0.57	0.45	0.67	0.33	0.33	0.26	0.24	0.50	0.21	0.74	-	-	-	-	-	-
水痘		0.17	-	-	-	-	-	0.05	-	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.45	-	0.05	0.10	0.17	0.10	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.10	-	-	-	0.02	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.43	-	0.21	0.17	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.67	-	0.10	0.36	0.12	0.02	-	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.83	-	-	0.02	0.02	0.10	0.05	0.12	0.17	0.12	0.05	0.07	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	0.10	-	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第22週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年6月8日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	51	33	14	19	6	6
RSウイルス感染症	-	3	-	-	2	1
咽頭結膜熱	8	7	20	9	11	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	36	63	99	69	56
感染性胃腸炎	333	267	345	346	332	308
水痘	10	11	10	15	23	7
手足口病	4	-	9	22	22	19
伝染性紅斑	10	5	7	12	8	4
突発性発しん	22	16	22	15	17	18
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	4	10	19	34	28
流行性耳下腺炎	18	17	24	26	33	35
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	3	2	1	4	4
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	499	402	526	583	561	495

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.74	0.48	0.20	0.28	0.09	0.09
RSウイルス感染症	-	0.07	-	-	0.05	0.02
咽頭結膜熱	0.19	0.17	0.48	0.21	0.26	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.86	1.50	2.36	1.64	1.33
感染性胃腸炎	7.93	6.36	8.21	8.24	7.90	7.33
水痘	0.24	0.26	0.24	0.36	0.55	0.17
手足口病	0.10	-	0.21	0.52	0.52	0.45
伝染性紅斑	0.24	0.12	0.17	0.29	0.19	0.10
突発性発しん	0.52	0.38	0.52	0.36	0.40	0.43
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.07	0.10	0.24	0.45	0.81	0.67
流行性耳下腺炎	0.43	0.40	0.57	0.62	0.79	0.83
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.30	0.20	0.10	0.40	0.40
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	11.63	9.49	12.55	13.78	13.61	12.03

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。